

JPX
マネ部!ラボ



「JPX マネ部!ラボ」レポート 2023

Exchange & beyond

2023年10月4日

東京証券取引所 / 大阪取引所 金融リテラシーサポート部



Index

1. JPX マネ部！ラボとは

P3

社会人向け

2. 出張マネ部！

P9

3. セミナーマネ部！

P13

4. 東証マネ部！

P19

学生向け

5. スクールマネ部！

P26

6. キャンパスマネ部！

P33

全体

7. 施設見学案内

P38

8. JPX マネ部！ラボのさらなる展開

P43



1-1. グループ CEO ごあいさつ

JPX グループは、経営の長期ビジョンとして、2030 年までに「幅広い社会課題に、資金調達・資金循環機能をはじめとしたソリューションを提供するグローバルな総合金融・情報プラットフォームへと進化し、持続可能な社会と経済発展の実現に貢献する」ことを目指しています。

この長期ビジョンの実現に向けた第一ステージとして、「中期経営計画 2024」では、「企業のイノベーション・成長と資産形成の循環促進」を重点戦略の一つに掲げています。イノベーション・成長の果実が、国民の資産形成へと繋がり、次のイノベーション・成長へと循環するためには、金融リテラシーの向上という国民的課題を解決していくことが重要と考えます。

昨年、政府において策定・公表された「資産所得倍増プラン」では、NISA の抜本的な拡充・恒久化や金融経済教育の充実が盛り込まれるなど、これまでの政府の取組みを大きく前進させる内容でした。政府の掲げる「新しい資本主義」の実現に向けて、資本市場を通じた「成長と分配の好循環」のために、JPX グループが果たすべき役割も、これまで以上に高まっていると認識しています。

私たち JPX は、これまで小中高生から社会人まで幅広い世代に対して金融経済教育を展開してきましたが、2022 年 4 月に新たに「JPX マネ部！ラボ」というブランドを設置し、取引所としての強みや特性を活かしながら各種プログラムを体系的に整理し、強化・改善していくこととしました。同年 6 月には、全ての世代に対し、金融リテラシーを考えるきっかけを提供するシンポジウムの開催、10 月には、JPX が発信する各種学習プログラムや記事・動画コンテンツ等にワンストップでアクセスできる「JPX マネ部！ラボ」ポータルサイトの開設、さらに 2023 年 3 月には、さらなる効果的な取組みを目指してレビューをいただく有識者懇談会を初開催し、今後の活動への多くの示唆を得ることができました。

みなさんの未来が、より豊かなものになるよう、引き続き「JPX マネ部！ラボ」を通じて、価値ある金融経済教育を提供してまいります。

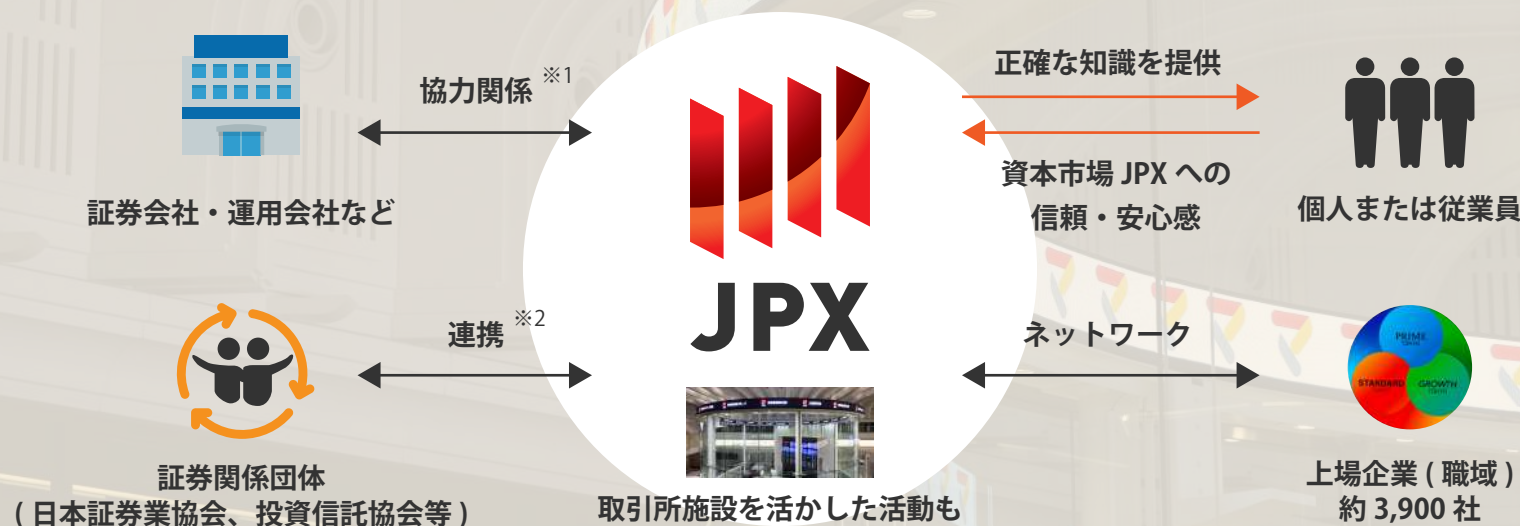


株式会社日本取引所グループ
取締役兼代表執行役グループ CEO

山道 裕己

- 昨今、金融リテラシー向上が国民的課題として注目され、金融機関をはじめ多くの企業・団体がそれぞれ特色のある金融経済教育活動を展開している。その中で JPX は、公的側面を持つ市場運営者として、個人に対し、中立な立場から正確な情報を提供していくことの重要性を認識し、**証券会社や団体との協力・連携関係及び上場企業とのネットワークを活かしつつ**、最大限効果的な活動を追求している。
- 東証 Arrows 等の見学案内の一環での講義など、**取引所施設を活かした活動も特徴**。
- 全世代・全レベルを対象としているが、**特に投資未経験・初心者層や学生に力点を置いた活動**を展開。

**JPX は、資本市場運営者としての「協力・連携関係、ネットワーク」を十分に活かしつつ、
 中立的な立場から金融経済教育を提供**



※1：個人投資家向けセミナーの共催や JPX が運営するウェブメディア「東証マネ部！」への記事寄稿等で協力

※2：職域研修の講師相互派遣や学生向け教材制作、投資シミュレーターの運営等で連携

1-3. JPXの金融経済教育「JPX マネ部!ラボ」の全体像

JPX マネ部!ラボとは

2022年4月、JPXは、金融経済教育活動をより一層強化・改善することを決定。活動の認知度向上、効率的な展開を図る目的で、JPX金融経済教育全体を表すブランド「JPX マネ部!ラボ」を新設して各プログラムを体系的に整理し、取引所の特性・強みを活かしながら、実効性ある活動を追求・展開している。

5つのマネ部!

2022年4月に新設したJPXの金融経済教育ブランド
『JPX マネ部!ラボ』 ※東京・大阪を拠点に展開

※各数値は2022年度実績



 出張マネ部!	職域研修 ■受講者数約 6,100 人 (約 100 回)	企業従業員に、講師が解説	
 セミナーマネ部!	セミナー ■セミナー視聴数約 35 万人 (約 120 回)	資産形成の重要性等を中心に展開	
 東証マネ部!	資産形成解説メディア ■月間平均閲覧数約 140 万 PV	お金・資産形成を楽しく学べるサイト	
 スクールマネ部!	小・中・高校生向け ■小中高受講者数約 3,700 人 (約 50 回)	授業支援、親子向けイベント等を展開	
 キャンパスマネ部!	大学・大学院生向け ■大学受講者数 約 7,500 人 (約 100 回)	金融経済や証券市場等の講義	
東証 Arrows / OSE ギャラリー		施設見学案内 ■施設見学者数 約 8,900 人	東京証券取引所及び大阪取引所の施設見学案内

新設した「JPX マネ部！ラボ」のコンセプトを周知

JPX マネ部！ラボ設立記念シンポジウム開催 @東証 Arrows(6月)

「JPX マネ部！ラボ」の、「全ての人に金融経済教育を」というコンセプトを広く伝える狙いで、記念シンポジウムを、日本の資本市場の象徴である東証 Arrows にて開催。「親子向け」「学生向け」「退職世代」の3部構成のプログラムで構成。



北浜フェスタ @大阪取引所ビル(7月～8月)

JPX 大阪拠点においても、「全ての人に」をテーマに、世代別に金融経済教育イベントを展開、施設内でパネル展示も実施。



総合的に学習できる環境の整備

JPX マネ部！ラボポータルサイト導入(10月)

世代別・習熟度別、商品別など、全ての個人がそれぞれのニーズに合ったコンテンツを探し、学習できる「JPX マネ部！ラボ」ポータルサイト。

記事や動画、講師派遣の申し込みなど、JPX が提供する幅広い金融経済教育コンテンツにワンストップでアクセス可。



「JPX マネ部！ラボ」ポータルサイト



日本株	ETF	先物	...
投資信託	REIT	オプション	...
初心者	中級者	上級者	...
ライフプラン	投資基礎	NISA制度	...

職域研修強化

職域研修において
日証協と提携
(7月)

P11

学生向け強化

イベント強化など
(8～9月、2月)

P29-30
P35

外部知見の取入れ(効果的なPDCA)

JPX マネ部！ラボ
有識者懇談会
(3月)

P44-46

Q JPX 金融経済教育全体を表すブランド「JPX マネ部！ラボ」を新設した狙いは？

近年、個人投資家をめぐる環境は大きく変化しています。一例を挙げると、NISAの普及やスマホを通じた証券取引の普及、SNSによる情報拡散手段の一般化など。これらにより、資産形成が身近になる一方、国民一人ひとりが安定的な資産形成を行うためには、正しい金融知識を身に付け、自身で主体的に判断することが、これまで以上に重要になってきました。こうした中、**中立的な立場から正確な金融知識**を提供することを強みとするJPXは、**資本市場の運営者**として金融経済教育分野においても社会に貢献していきたいと考えています。こうした認識のもと、金融経済教育活動を更に強化・改善していく象徴として、金融経済教育のブランド、「**JPX マネ部！ラボ**」を設置し、この下で、統一的にかつ体系的に各種プログラムを展開していくこととしました。

Q そもそも「JPX マネ部！ラボ」のネーミングの由来は？

「マネ部」は「**マネー**」と「**学ぶ**」を掛け合わせた造語です。古語では「学ぶ」を「まねぶ」と読むことと、**お金に関する様々な知識が集積する「ラボ・研究所」**の意味を込めてネーミングしました。1年経過し、知名度はまだですが、**統一的なブランド名**を新設したことで、活動のマーケティングは格段にしやすくなりました。今後、活動全体の付加価値を高めながら中長期的な目線で、このブランド名を世の中に広く浸透させていく考えです。



東京証券取引所 執行役員

長谷川 高顕

Q 「JPX マネ部！ラボ」設置1年目の手ごたえはどう？

取引所として取り組むべき課題を意識しながら1年目の強化・改善テーマを明確に設定して活動してきた結果、いくつか具体的な成果が出始めています。その一つが**職域研修**の分野です。JPXは、上場企業とのネットワークを活かしたサービスとして、2017年より、上場企業向けの職域研修を展開し、大変な好評をいただけてきました。昨今、企業経営における人的資本投資への意識の高まりを受けて、特に上場企業において、**従業員のファイナンシャルウェル・ビーイング**向上の観点から金融経済教育の研修ニーズが増加しています。このニーズの高まりに応えるために、昨年7月、日本証券業協会と講師を相互派遣することで合意しました。これにより、**職域研修の実施件数を拡大**できたことは、意義深いことと考えています。

Q JPXの金融経済教育はどのような体制・メンバーで活動している？

東京（日本橋兜町）と大阪（北浜）に拠点を有し、金融リテラシーサポート部のメンバーが、それぞれ密接に連携しながら一体感をもって各種のプログラムを企画・推進しています。講師については、経験値のある中堅からベテランを多めに配置しており、セミナーやメディアのデジタルマーケティング関係の業務等には、若手を多めに配置し、ユーザーのニーズ・期待に応えられるよう、活動を展開しています。また、取引所ならではの人気コンテンツとして、施設見学案内ツアーを展開しており、これらを担当するメンバーもおります。



金融リテラシーサポート部長

菊地 晶子

5つのマネ部！と見学案内



概要

- … 2017年8月サービス開始
- … 上場会社を中心に、累計400回以上の講義実績
- … 金融・資本市場を熟知した講師を無償で派遣
- … 社内研修や勉強会の一環として資産形成等に関する講義を受けられる
- … 受講者のうち6割超が30代までの若い世代で、投資未経験層にも多くリーチ

特徴

JPXが有する、約3,900社の上場企業ネットワークを活かしてサービスを展開

約3,900社の
上場企業のネットワーク

- ・一般社員研修
- ・新入社員研修
- ・退職前研修 など

Point1

公平・中立の立場

Point2

講義内容はカスタマイズ可

Point3

講師料・交通費 無料*

*遠方の交通費については、ご相談することがあります。

東京証券取引所がかけつけます！
あなたの会社の社員
マネーリテラシー足りてますか？

何かから始めればいいのか？
NISAってなに？
DBとDCの違いって？
iDeCoってなに？
持株会って何がいの？

ポイント1 講師料 無料
ポイント2 カスタマイズ可能な講義内容
ポイント3 公平・中立

講師料無料、交通費も基本無料です。オンライン講義も可能です。
ニーズに合わせて内容で対応可能です。
公平・中立の立場で実施します。

お申し込み・お問い合わせは以下までお気軽にご連絡ください！
株式会社東京証券取引所 金融リテラシーサポート部 出張マネ部担当
URL: <https://www.jpex.co.jp/learning/education/contents/finance/index.html>
E-mail: manebu@jpex.co.jp 電話: 050-3377-7409、8888(直)



お申し込みはこちらから

ライフプランにおけるお金の活かし方、投資の基本

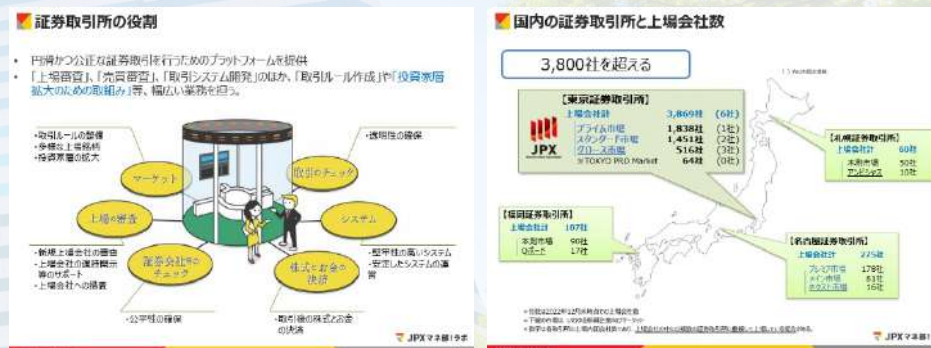
- 資産形成がなぜ重要なのか、日本の社会背景などを交えて解説し、複利効果や、投資の3つの基本（長期・積立・分散）について、理解を深める。
- DC(確定拠出年金)導入企業に対しては、投資のはじめの一歩として、DCの運用商品の配分を自身で考えるきっかけとなるよう解説。

講義資料のイメージ



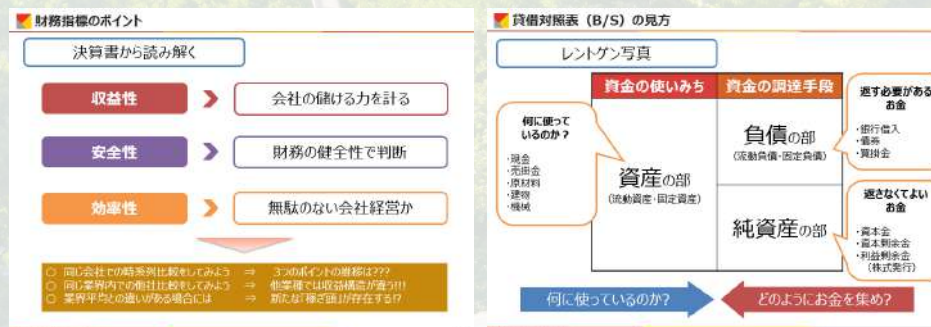
証券市場の仕組みと機能

- 資本市場運営者の立場から、証券市場・株式会社の仕組みについて解説し、資本市場が社会においてどのような役割を果たしているか、理解を深める。コーポレートガバナンスコードや市場再編などのトピックにも触れる。



決算情報の見方

- BS(貸借対照表)・PL(損益計算書)の見方や各種の財務指標、企業分析の基本的な考え方などを解説。企業の見方を知ることによって、個別株投資への関心を高めるきっかけを提供。



昨今、企業経営における人的投資への意識の高まりを背景に、特に上場企業において、ファイナンシャルウェルビーイングの重要性が認識され、金融経済教育の職域研修のニーズが増加。

約3,900社の上場企業ネットワークを持つJPXは、このニーズの高まりに積極的に対応していくため、

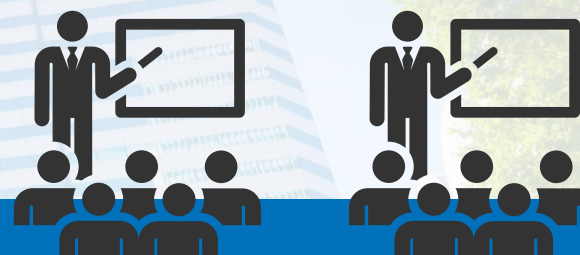
2022年7月、講師の相互派遣で日本証券業協会と提携。

～2022年6月



職域研修において、JPXへの申し込みは
JPXの講師のみで対応

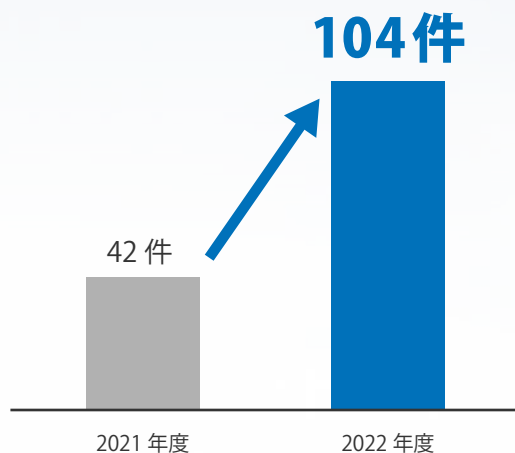
2022年7月以降



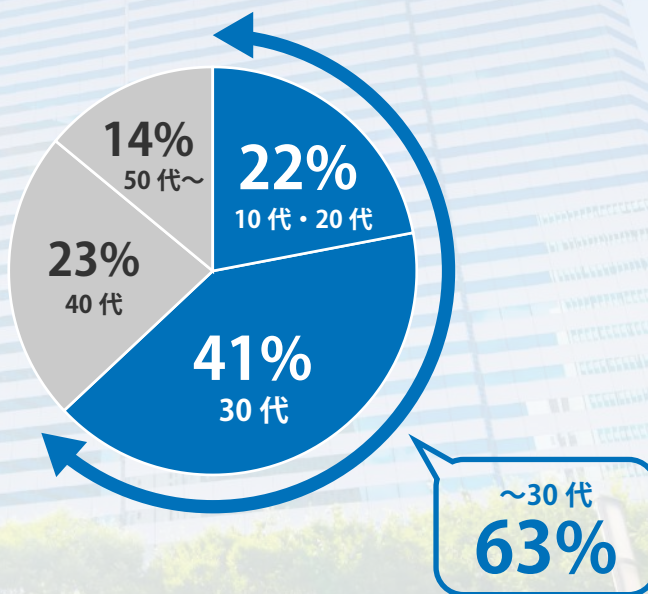
豊富な講師リソースを抱える日本証券業協会と、
講師の相互派遣で合意、業界全体の効率的な運用が実現

- 日本証券業協会との提携を周知した効果もあり、実施件数は増加。
- 受講者のうち6割超が30代までの若い世代で、投資の未経験者層にも多くリーチできている点の特徴。
- 受講者の大半が投資への前向きな態度変容。

実施件数



受講者の年齢層



受講後の態度変容

投資への前向きな態度変容



受講者・企業担当者の反応



今までDCの運用商品を変更したことがありませんでしたが、まずはそこから考えてみようと思います。



JPXのサービスということで安心して申込みしたが、やってみて良かった。また来年も依頼したい。

概要

- … 個人向けの金融経済教育セミナー（旧 JPX アカデミー）
- … コロナ禍以降はオンライン中心に展開
- … 動画配信本数：年間約 120 本（2022 年度実績）
- … 外部と連携したセミナー・イベントも複数展開
- … ラジオ NIKKEI との連携で音声配信コンテンツも強化



特徴

JPX 主催セミナー

全ての世代を対象に、ニーズに応じた幅広いテーマのセミナーを企画・展開。取引所ならではのテーマの企画も。

関係団体・外部との連携施策（共催・協賛など）

JPX の幅広いコネクションを活かし、様々な団体・企業とコラボレーションしてイベントを企画・展開。

動画・ラジオコンテンツなど

若い世代への訴求を意識した短編動画を複数企画・配信。radiko^{*}の利用増も踏まえ、音声コンテンツも積極的に展開。

※スマートフォンやアプリ・パソコンでラジオが聴けるサービス



セミナー動画一覧

3-2. JPX 主催セミナー①(アプローチの種類)

セミナーマネ部!

各分野の専門家などを講師に招き、自ら資産を管理・運用する際に必要とされる知識や情報を幅広く提供。市場再編など、取引所ならではの企画も。

習熟度別 (未経験者・初心者、中・上級者など)

- **あなたのお金の考え方「NG」かも!**
「老後難民」危険度10項目チェック、資産形成のNGを再点検
- **日経記事でマネートレーニング『みるみるわかる株式ニュース』**
「銘柄診断のものさし～目利き力を鍛える～」

世代別 (若年層、現役世代、退職世代、親子など)

- **これからの金融リテラシー教育**
～親こそ学ぶべき!? お金の話～

商品別 (日本株、ETF、デリバティブなど)

- **会社四季報でマナブ「ニッポンの株式」**
～「伝説の編集長」×「伝説の読破王」ガチバトル～
- **Z世代のためのデリバティブ基礎知識**

テーマ (新しいNISA、企業研究、市場再編、ESGなど)

- **新たな市場区分とTOPIX** ～生まれ変わる東京株式市場の姿～
- **2023年の資産形成、どう動く?** ～新たなNISA制度をふまえて～
- **これからどうなる? 株価指数から見るグローバルマーケット**



3-2. JPX 主催セミナー②(2022 年度の新規配信動画)

セミナーマネ部!

2022
6/4

「JPX マネ部! ラボ」設立記念シンポジウム～鼓動～

【第1部】家庭からはじまる金融経済教育編等

【第2部】自立するための金融経済教育編

【第3部】退職世代のファイナンシャル・ウェルネス編

2022
7/21

「会社四季報でマナブ「ニッポンの株式」

～「伝説の編集長」×「伝説の読破王」ガチバトル～

2022
8/10～

Z世代のためのデリバティブ基礎知識

【Part 1～Part 4】

2022
8/12

これからの金融リテラシー教育～親こそ学ぶべき!? お金の話～

2022
9/8

「JPX マネ部! ラボ」キャンパスマネ部! in 札幌

～伝説のファンドマネージャー × 北海道で金融を学ぶ学生、北海道発アイドルと「投資」について考えるスペシャル～

2022
9/15

「業界地図」見聞録<会社四季報 業界地図 2023 年版>

【第1部】～投資・就職・ビジネスの新しい見聞を拓けよう～「会社四季報業界地図とは」

【第2部】～投資・就職・ビジネスの新しい見聞を拓けよう～「会社四季報×四季報業界地図併用法」

2022
9/22

「企業分析の専門家による近未来展望」

～長短の投資戦略と株式相場の先読み法～

2022
10/27

「これからどうなる? 株価指数から見るグローバルマーケット」

2023
1/31

「2023 年の資産形成、どう動く? ～新たな NISA 制度をふまえて～」

【第1部】<手取額が増える金融商品を選ぼう、これからの見通し>

【第2部】<資産運用に関しての5つの確認事項>

2023
3/11

日本 FP 協会東京支部・東京都金融広報委員会との共催オンライン Live イベント

「お金を知る! 学ぶ! スペシャル～豊かな人生を生きるための「知恵」を探る～」

3-3. 関係団体・外部との連携施策（2022年度事例）

セミナーマネ部！

JPX 単独での開催のみならず、より多くの個人にリーチする狙いで、業界諸団体や地方公共団体、民間企業などと幅広く連携し、多角的なアプローチを展開している。

FP 協会東京支部・ 東京都金融広報委員会との共催セミナー

2023年3月開催

『お金を知る! 学ぶ! スペシャル』

～豊かな人生を生きるための「知恵」を探る～



ーゲスト講師ー
横川 楓氏（日本金融教育推進協会・代表理事）
厚切りジェイソン氏
菊間 千乃氏（弁護士）

地方自治体（松戸市）との連携施策

2023年2月開催

松戸市役所「冬の消費者教育」



「投資の基礎知識」と
「新旧 NISA 制度解説」の
二部構成で講義。

メルカリとの共催セミナー

2023年3月開催

「【超初心者向け】物価上昇も怖くない！
資産形成の基本のキ！マネー講座」

ーゲストー
ギャル曽根氏

グローバルマネーウィーク
に合わせて、メルカリ社と
の共催形式で、初心者向け
のマネー講座を東証 Arrows
から、対面・オンラインの
ハイブリッド形式で開催



DC 協会との共催セミナー

2022年9月配信

「企業型確定拠出年金 (DC) カンファレンス 2022 秋」

テーマ

- ①改正法対応
- ②DC 商品モニタリング
- ③継続教育。主に上場企業 DC 担当者向けに、「これからの金融教育のあり方」や「DC 投資教育の成功事例」等を紹介。

日本 FP 協会との共催セミナー

2022年10月開催

「お金の失敗談を子どもに隠さないことが大事」

- ー FP 協会群馬支部との共催ー
- ・講師：作家・公認会計士 田中 康浩氏

2022年10月開催

「はじめての人でも大丈夫！家計としての資産運用」

- ー FP 協会神奈川支部との共催ー
- ・講師：CFP ファイナンシャル・プランナー 風呂内 亜矢氏

証券会社（岡三証券）との共催セミナー

2022年12月開催

「はじめよう！投資初心者のためのやさしい
日本株セミナー」

投資未経験・初心者を対象に日本株と ETF を訴求。
参加者 25 名のうち、20 代
5 名含む比較的若い世代が
多く集まる。

投資のキーワードは「焦らずじっくりと」



セミナー開催中は、岡三証券 投資情報部の中山浩志さんが「日本株の魅力と教育
機、投資の中心は現金にあり」と語り、投資の基礎と株値の動き方
を解説。

3-4. 動画・ラジオコンテンツ（2022 年度事例）

セミナーマネ部！

若い世代に向けたプログラムとして、世界規模で関心が高まる ESG をより分かりやすく、身近に感じてもらう約 3 分の短編動画「ESG スリーミニッツ」シリーズや、アイドルグループを起用して、お金について学んでいくラジオプログラム「私立恵比寿中学のマネ部！」等も企画・展開。

連続短編動画企画「ESG スリーミニッツ」



ESG へ積極的に取り組む企業へのインタビュー、ESG の専門家による解説など、ESG 最新情報を盛り込んだラジオ NIKKEI の放送のスピナウト動画を掲載。

2023 年 9 月で
シリーズ配信動画数

28 本！

- 「最近話題の ESG みんな意識してる？」
- 「あの有名企業の ESG レポートをきんゆう女子。が読んでみた」
- 「学生投資家が注目する ESG に優れる日本企業は？」
- 「日本企業の ESG、どうあるべき！？ USIC に聞いてみた」
- 「ESG 債の動向についてうかがってみました！」

音声コンテンツ「私立恵比寿中学のマネ部！」



10 人組アイドルグループの私立恵比寿中学のメンバーが週替わりで、お金について「学び・考え・知識を付ける！」お勉強プログラム。

2023 年 9 月で
連続放送回数

100 回超！

成人年齢の引き下げや高校家庭科での資産形成内容の履修を意識し、メンバーの等身大でのコメントによる「リスナーとの共感」をテーマに展開。

SNS 連携で若年層にリーチ！

X (旧 Twitter) フォロワー：約 4,500 名

Instagram フォロワー：約 4,300 名

2023年の資産形成、どう動く？

新しいNISAの解説に加えて、確定申告等々多岐にわたり大変参考になりました。私の金融リテラシーは独学のため、知らない事や既に知っていることの再確認が出来ました。

株価指数から見る グローバルマーケット

全体感を把握するために、非常に分かりやすかったです。今後、ニュースなどを見た時も理解度が上がると思います。

新たな市場区分とTOPIX

基本的な用語説明などを踏まえながらのセミナーだったので、とてもわかりやすかったです。講義資料も見やすかったです。この内容の解説動画があまりなかったので助かりました。

2022年度 セミナー視聴数約

35万人

(セミナー開催数約120回)

会社四季報「業界地図」見聞録

プロの方から金融リテラシーについて学ぶ機会が今までなかったので、東証が中心となってこういうセミナーを開催してくださって、とても助かっています。

私立恵比寿中学のマネ部！

高校生ですが、大人になってから困ることが少しでも減れば良いと思って聴いています！自分の知らないことを知ることが出来るのでとても役に立っています！これからも頑張ってください。

「伝説の編集長」×「伝説の読破王」

お二人の実績と経験が具体的な事例を基に構成されておられ、それぞれのユーモア溢れたお人柄と相まって、たいへん含蓄のある示唆に富んだ内容で大いに参考になりました。

概要

- … 2016年12月サービス開始
- … 月間約140万PV(2022年度実績)
- … 年間配信記事数約500本
- … 編集部企画記事のほか、証券会社や運用会社等から幅広く寄稿
- … 市場再編など、取引所ならではの記事も充実
- … SmartNews、LINE NEWS等にも配信
- … 10代～40代前半の読者層が約7割
- … 記事の「参考になった率」約9割

特徴

投資未経験・初心者が、お金・資産形成について
楽しみながらスラスラ読める記事を多数企画・配信

お金のことや投資って
なんだか難しい...



1st Step

身の回りのお金に関する記事

2nd Step

資産形成・投資に関する記事

3rd Step

投資への態度変容
(関心度向上・投資検討)

東証マネ部!



4-2. 多様な記事テーマ

- ・身近なお金の話からプロが教える資産形成のノウハウまで、わかりやすく解説するウェブ記事を配信。
- ・中でも、読者ニーズの高いテーマや注目してほしいテーマを特集化し、記事を見つけやすくするよう工夫。
- ・東証ETFや市場再編など、取引所ならではの記事も充実。

無関心層・
初心者向け



インフォグラフィック

難しく感じられがちなお金の話を、図やイラストでわかりやすく解説

記事数 **100** 本超



投資家の本棚

成功した投資家が影響を受けた書籍を、本人が紹介

記事数 **15** 本超

中級・
上級者向け



プロが語る！資産形成のすゝめ

今マーケットで注目されているトピックを証券会社や運用会社の専門家が解説

記事数 **310** 本超



投信・ETFトレンド情報

投資信託やETFのトレンド情報・最新情報

記事数 **120** 本超

世代別を
意識



子育てにまつわるお金の話

教育を始めとした子育てに係るお金の話をテーマに掲載

記事数 **50** 本超



リタイア後のマネー事情

老後に発生する費用や老後の資産形成について解説

記事数 **90** 本超

ESG



世界共通語「ESG/SDGs」

いかに ESG に配慮して SDGs を達成していくか…ESG 投資の手法や最新情報を掲載

記事数 **35** 本超

4-3. 初心者でも楽しみながら読めるインフォグラフィック

難しく感じられがちな資産形成やお金の話を、図やイラストで解説する「インフォグラフィック」は、投資無関心層や初心者を中心に人気のコンテンツ。

記事一覧 →



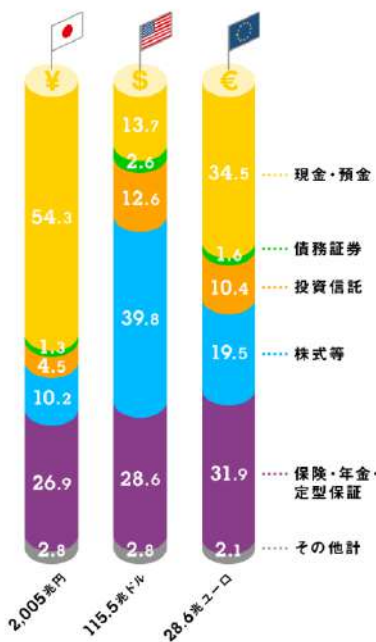
101 欧米で投資が進んでいる理由とは？
日・米・英の投資事情

日本・アメリカ・ヨーロッパの
金融資産構成は
どの程度異なるのか？



家計の金融資産構成

金融資産合計に占める割合(%)

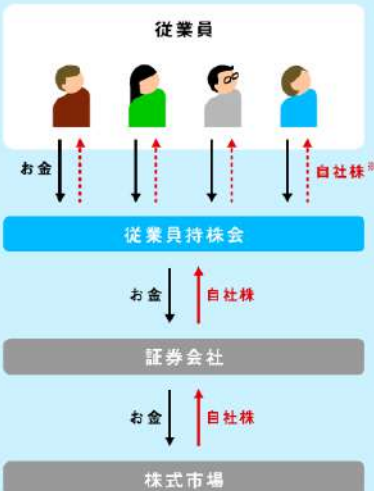


90 株式投資を始めるきっかけに！
「従業員持株会」のメリット

従業員持株会とは

従業員一人ひとりの給与
または賞与から天引きされたお金で、
自社株を購入する制度

従業員持株会の仕組み



※株式そのものが分配されるわけではないが、保有しているのと同様の状態となる

88 2022年4月4日に一斉移行！
「東証市場区分」見直しの内容

現在の市場区分



2022年4月4日からの
市場区分



それぞれ、どのようなコンセプトの市場になるかという...

プライム市場

71 確定申告や住宅ローン申請で必須！
「源泉徴収票」ってどう見るの？



会社から従業員へ
源泉徴収票が渡されるタイミング

- 12月から翌年の1月に行われる年末調整の計算が完了した時
- 退職した時

そもそも「源泉徴収」
「年末調整」ってなに？



源泉徴収
従業員の毎月の給与所得に応じて、
会社が給与から所得税を差し引くこと。

4-4. 2022年度の取組事例

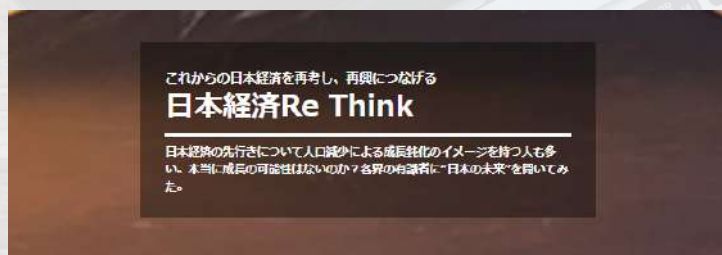
東証マネ部！

各界の有識者に、日本経済のポジティブ面・ネガティブ面を忖度無しに語っていただくことを通じ、読者に日本の未来、そして日本株について考えるきっかけを提供。

記事一覧 →



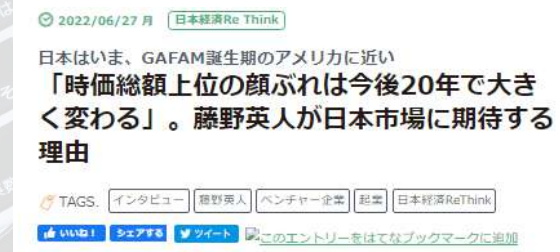
「東証マネ部！」特別記事企画「日本経済 Re Think」



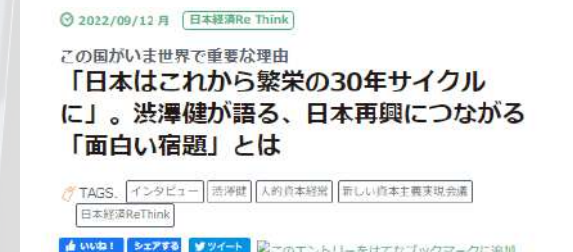
2022年6月27日配信
レオス・キャピタルワークス
代表取締役会長兼社長 藤野英人氏



2022年9月12日配信
シブサワ・アンド・カンパニー
代表取締役 渋澤健氏



日本市場や日本経済に成長可能性はあるのか、いけば投資における“日本の未来”を有識者が占う連載「日本経済 Re Think」。今回登場するのは、レオス・キャピタルワークスの藤野英人氏。



これからの日本経済・日本市場に成長可能性はあるのか、いけば投資における“日本の未来”を有識者が占う連載「日本経済 Re Think」。今回お話を聞いたのは、シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役の渋澤健氏。

2022 年度は累計で 500 本超の記事を配信！

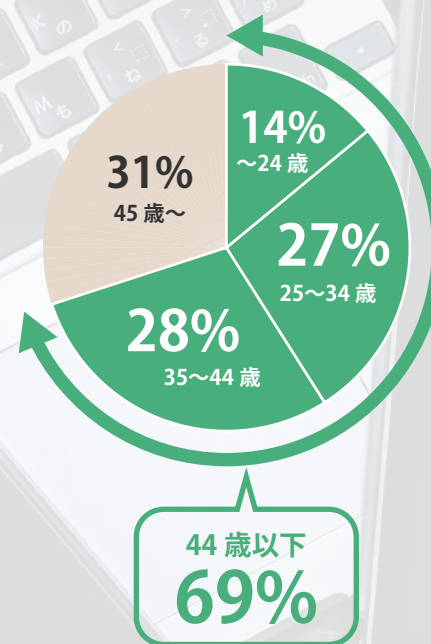
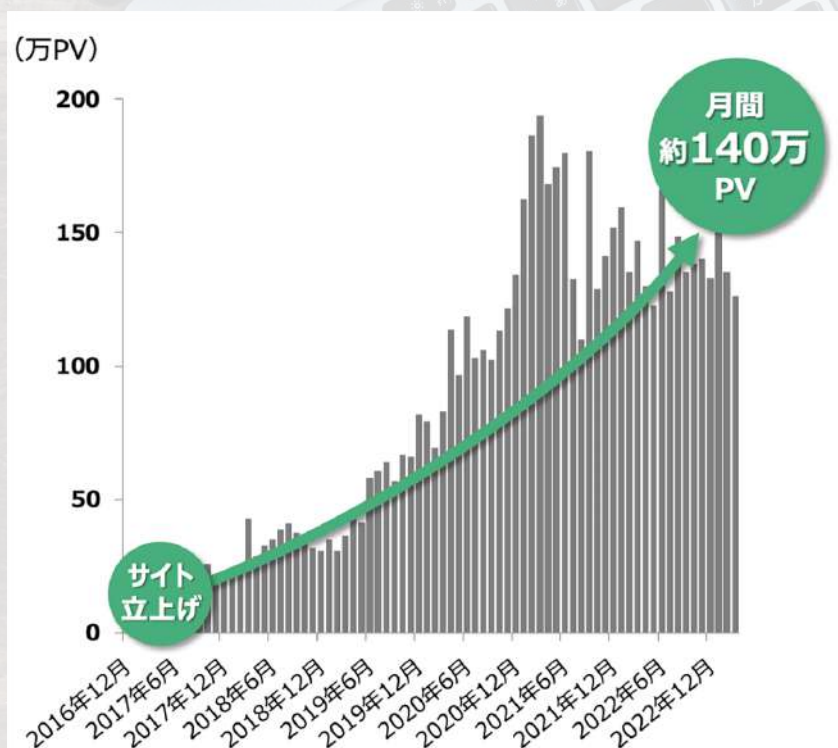
記事配信日	記事タイトル（2022 年度は累計で 500 本超の記事を配信）	PV 数 [※]
2022/4/20	ライフスタイル別に「老後資金」を算出してみた～シングル編～	24,516
2022/5/5	子どもに投資させたい？投資の話はする？	16,514
2022/5/29	自分の会社の株は持ってる？	33,452
2022/5/31	金融庁発「高校向け 金融経済教育指導教材」は大人も知っておきたい知識が満載！	16,299
2022/6/27	「時価総額上位の顔ぶれは今後 20 年で大きく変わる」。藤野英人が日本市場に期待する理由	26,299
2022/7/4	新市場区分を投資機会に～あるべき姿への課題	11,902
2022/7/19	内閣総理大臣補佐官に聞く（前編）～「公的年金シミュレーター」誕生の背景～	10,615
2022/9/12	「日本はこれから繁栄の 30 年サイクルに」。渋澤健が語る、日本再興につながる「面白い宿題」とは	46,868
2022/11/3	個別銘柄と投資信託どちらに投資している？	21,881
2022/12/6	ETF のよくある質問に答えました！	14,297
2023/1/10	成田悠輔氏「『アメリカの金融経済教育は進んでる、日本は遅れてる』という単純な考え方はすべきではない」	46,253
2023/1/20	確定申告の手順を図解【2023 年版】	48,314
2023/1/29	株式投資をしたら会社員も確定申告が必要？口座ごとの違いも説明	35,248
2023/1/31	27 歳、つみたて NISA 歴 4 年の体験談「積立ってめっちゃ地味」	37,279

※PV 数は、2023/7/30 時点

- サイト開設以降、読者ニーズを踏まえた企画記事を展開した結果、PV数・ユーザー数は順調に増加。
- ユーザーの約7割が44歳以下、若い層が多いのが特徴。
- 取引所が運営するメディアとして正確で高い品質の記事を企画・配信していくことを強く意識。

月刊PV数(ページビュー数)の推移

ユーザー属性・反応など



※全記事にアンケートを設置、
毎月約100件のコメントが寄せられ、
効果的なPDCAに



JPXが運営しているサイトなので安心感があります。
普段の生活で疑問に持つお金に関する様々なテーマを
分かりやすく解説してくれる点を気に入ってます。

資本市場運営の立場から、日本の資本市場発展の歴史を様々な形で発信。「東証マネ部！」の特別連載記事企画「歴史的な視点で経済や市場を学ぶ」は多くのアクセス・反響があった。

JPX ワーキングペーパー VOL41

2023/5/9 明治期東京株式取引所の株式取引制度
横山和輝氏（名古屋市立大学） 石田慈宏（東京証券取引所）



東証マネ部！ 特別連載記事企画「歴史的な視点で経済や市場を学ぶ」



キャンパスマネ部！グループ課長 石田慈宏

現代の形になっている市場を、今の時点から学ぶのではなく、各地に点在する市場（いちば）だった頃に遡って、市場がどういう性質のもので、それが経済にどういう役割を果たしているのか、またよく耳にする「市場経済」というものをどのように作っているのかについて、これから投資を始めるために経済や市場を理解したいと考えている人のお役に立てればと思い、企画・執筆しました。

概要

2022年4月から高校の学習指導要領が改訂され、家庭科の授業で金融経済教育の資産形成に関する内容が拡充されました。JPXとしても、学校・学生向けの各種の取組みを強化中。

- … 授業支援年間約 50 回、約 3,700 人 (2022 年度実績)
- … 座学のみならず株式模擬売買等、体験型の教育も
- … 取引所施設を利用した親子向けイベント等も好評
- … 学生及び教職員向けの特設サイト「なるほど！東証経済教室」も展開
- … 教材制作・提供にも関与



特徴

授業支援・受入講義、
起業体験プログラム

学校からの要請に基づき、JPXの社員を講師として派遣。
東証 Arrows、OSE ギャラリー案内とセットで講義も実施。

セミナー・イベント

春休み、夏休み、冬休みの期間に、親子向けのイベントや教員向けセミナーを集中的に実施。2022年度は証券会社との連携企画など新しい試みも実施。

ウェブサイト、
教材制作・提供等

学生及び教職員向けに、金融・投資に関する分かりやすい短編動画コンテンツ等を掲載したウェブサイトを運営するほか、他団体とも連携しながら教材を制作・提供。

5-2. 授業支援等①

スクールマネ部！

小・中・高校生向けの授業支援では、「株式会社のしくみ」と題して、株式会社の目的・役割から、暮らし・経済と株式の関わりなどを解説。「投資」が社会に重要な役割を果たしていることなどにも触れる。また、体験型学習として、ボードゲームを利用し、生徒自身がニュースと株価の関係を考え、理解を深める授業も展開。

授業支援

対象 小学校5年生～高校生(10名～)

講義内容

- … 私たちの暮らしと株式会社 (小学生)
- … 株式会社のしくみと証券市場 (中高生)
- … 社会や経済の動きと株価 (中高生)
- … ボードゲーム "ブルサ" (中高生)
- … キャリア教育等

※学校との相談の上、講義内容は調整可



2022年9月開催 東京都中央区立阪本小学校での授業風景

費用 原則無料

講義資料例 (株式会社のしくみ)

9

株式会社の目的と役割

株式会社はどのような活動をしているのでしょうか

目的
利益をあげ、会社の価値を高める。

役割
よい商品・サービスを提供して、暮らしや社会を豊かに、便利にする。会社には様々な人々が関わっています。

投資家 消費者
資金 サービス
経営者 労働力 代金
従業員

12

株式会社からみた株式のよい点>

- 株式会社は多くの人たちから少しずつお金を出してもらうことで資金をたくさん集められる。
- 集めたお金は、返さなくていい。⇒大きな事業に適している。

18

「経済」「暮らし」と株式の関わり

東京証券取引所
⇒フェアな値段で株式を換金できる市場

人々が会社に資金を提供
⇒会社は資金を使って事業を拡大 (売り上げや利益がのびる)
⇒会社の業績がのびると経済は活発になる (景気がよくなる)
⇒人々の暮らしがよくなる (便利で豊かに)

『東証』は経済の心臓部といわれている

ボードゲーム(ブルサ)



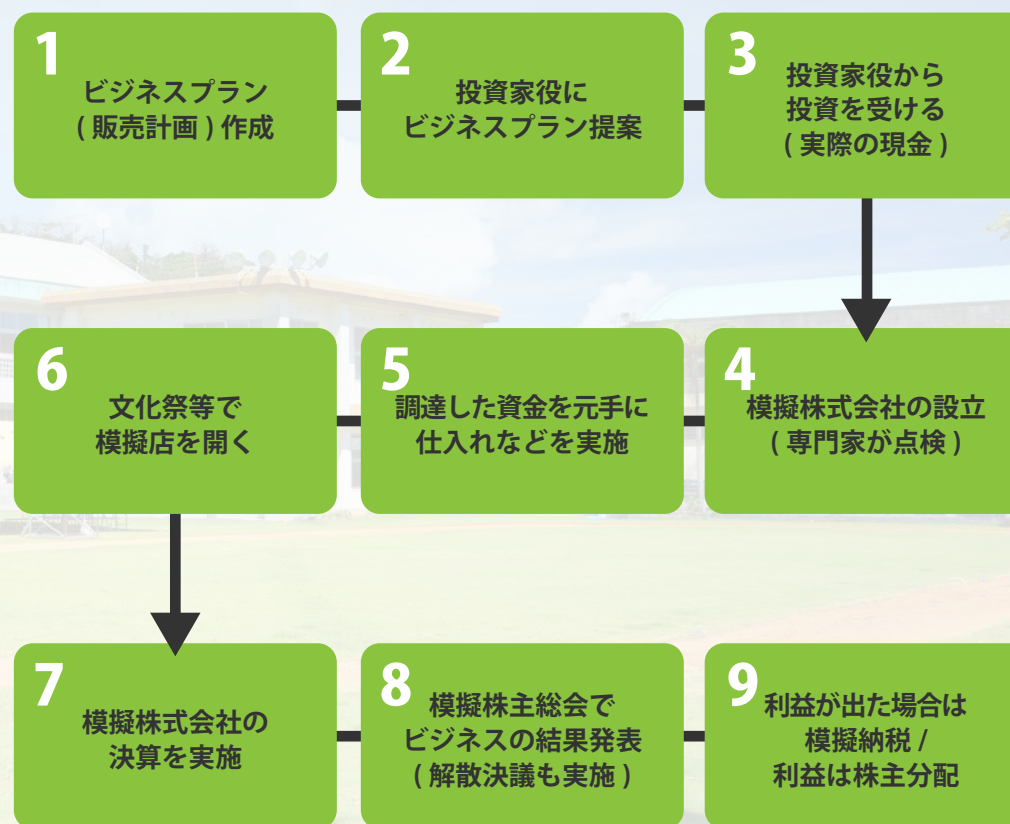
金融経済に関する授業支援のほか、「起業家」としてゼロからビジネスを立ち上げる経験を通じて、自ら学び・考える力などの「生きる力」をはぐくむことを目的とした「起業体験プログラム」も展開。

起業体験プログラム

起業・創業に携わる専門家らのサポートのもと、投資家役（ベンチャーキャピタリスト）から出資を受け、事業活動を、実際に現金を使って体験。

お金を「借りる（借金）」ことだけで会社運営が成り立つものではなく、その創業時に考えられた事業プラン（アイデア）やリスクを負ってくれる「出資（資本）」からビジネスが始まるステージを体験。

こうした体験学習を通じ、生徒たちは、「社会・経済の仕組み」、「はたらくことの楽しさ」、「地域経済・地域課題」等の「学び」を得る。



5-3. セミナー・イベント等①(2022年度の新しい試み)

スクールマネ部!

成年年齢引き下げや、学習指導要領改訂により高校の家庭科授業で扱う金融経済教育の内容が拡充された。これを受けて、業界全体で金融経済教育を盛り上げていきたいという狙いで、高校生を対象に、証券会社(マネックス証券)との共催で、「投資」を考えるイベントを企画・開催。「謎解き」で人気の松丸亮吾氏を講師に迎え、マネーリテラシーの謎解き等を通じ、広い意味で投資を考えるプログラムとした。参加者アンケートのほか、SNS上でもポジティブな反応が見られた。

マネックス証券共催「課外授業「Z世代が知っておきたいマネーリテラシー」

2022年8月、東証 Arrows で開催!

マネックス証券が運営するウェブメディア「マネクリ」上のイベント開催録記事(2022年8月19日掲載)。以下はその抜粋。

高校生だからこそできる「自分への投資」、お金の勉強の重要性

2022年8月3日、東京証券取引所内にある東証アローズの特設会場にて開催された特別授業には抽選で選ばれた16名が現地会場から、オンライン申込者がライブ配信で参加しました。「Z世代が知っておきたいマネーリテラシー」と題された第一部では東京証券取引所(以下、東証)の金融リテラシーサポート部 調査役 吉田貴弘氏と、マネックス証券 マーケット・アナリスト兼インベストメント・アドバイザー 益嶋裕が登場しました



東京証券取引所金融リテラシーサポート部課長 吉田貴弘氏

吉田氏は株式会社や上場企業の数などについてもクイズ形式で出題し、参加者がその場で回答しながら学んでいきました。

マネックス証券の益嶋は、冒頭で勉強すること、本を読むこと、大切な友だちを作ること...など高校生の今だからこそできる、「自分への投資」の重要性について語りました。

次に100万円の元本が200万円になるのに必要な年数や複利の考え方、リスクとリターン、投資にかかるコストなどを説明。企業の業績と株価の連動性については、参加者も興味津々で聞き入っていました。

また、最近よく目にするニュースを題材に未成年が巻き込まれがちなお金に関するトラブルについても、分かりやすく説明しました。リターンばかりを強調するものは詐欺の可能性が高いことや、詐欺にだまされないためにもお金の勉強が大切であることなどを伝えました。

第一部の最後では、人々が投資というかたちで企業を応援することによって、企業はさらに良い商品やサービスを世の中に生み出すことに貢献でき、好循環につながると話しました。こうした話から、参加者はお金や経済の仕組みは遠い世界のものではなく、自分たちの暮らしと地続きであることを学びました。



マネックス証券マーケット・アナリスト兼インベストメント・アドバイザー 益嶋裕

第二部では、特別講師として謎解きクリエイターの松丸亮吾氏が登場。東証アローズに設置された「チックカー」と呼ばれるリング型の株式表示システム上に、謎解きが表示されるという東証開設以来、初の試みが披露されました。回転式チックカーは2021年、21年ぶりに従来の3色文字表示の電光掲示板からフルカラーLEDのチックカーに一新。「松丸亮吾さん、ようこそ東証へ」という文字が鮮やかに表示され、松丸氏も興奮を隠せない様子でした。



そして、松丸氏が考えた謎解きがスタート。回転するチックカー上の文字や数字に隠された6文字の言葉を見つけるというもので、ひらめいた参加者は、スマートフォンを使って正面のスライドに表示されたQRコードを読み取り、回答。隠された6つの文字は、「ラ」「イ」「フ」「プ」「ラ」「ン」で、答えは「ライフプラン」でした。

続きはこちらから。



毎年、春・夏・冬休みの期間に「親子経済教室」を開催(対面・オンライン)。

参加者アンケートでは、満足度9割以上の高評価を得ている。ニーズに応える形で2022年度は実施回数を拡大。

このほか、教員を対象とした金融・経済セミナー研修も実施。

親子経済教室(春・夏・冬休み)

2021年度に6回だった実施回数を2022年度は20回に拡大。
対面形式は東京拠点のみならず大阪拠点でも実施。

当日のプログラム内容

1. 社会や経済の動きと株価の関係や株式会社の仕組みについての経済教室
2. 東証 Arrows・大阪取引所見学



「満足」・
「やや満足」の割合

約 **95** %

教員向けセミナー・研修

教員向けには、依頼に応じて実施する個別研修のほか、
経済を学び・学びなおすための「先生のための経済教室」を、
経済教育ネットワーク*との共催で毎年夏・春休みに開催。

*経済教育を実践している個人や団体をネットワークで結びつけて、その教育活動を支援する団体。
<<https://econ-edu.net/>>

「2022年先生のための夏休み経済教室」の講義テーマ例

- JPX 社員
「JPXの最新の動きと金融経済教育の取組み」
- 静岡大学教育学部 塩田真吾准教授、目白大学社会学部 新井明非常勤講師
「情報で金融を教える」
- 東京大学大学院経済学研究科・経済学部 柳川範之教授
「経済を教える前に知っておいてほしいこと」

ウェブサイト「なるほど！東証経済教室」

学生及び教職員向けに特化した金融経済教育ウェブサイト。金融・経済について、アニメーションで解説する3分程度の動画集は特に好評。授業支援の報告レポートも掲載。



なるほど！東証経済教室



1. 3分程度の動画集（会社の目的と役割、株価の決め方、証券市場の役割、東京証券取引所とSDGs）
2. 経済、金融知識の記事コンテンツ（ベーシック・アドバンス）
3. 授業支援実施レポート
バーチャル東証 Arrows 見学
4. セミナー案内
5. 授業支援・教材申し込み

学校向け教材制作・提供

JPX オリジナル教材

株式会社のしくみ（中・高校生向け）



「社会科」「総合的な学習の時間」等の学校授業に講師を派遣する「授業支援プログラム」のベース教材。「株式会社のしくみ」「社会や経済の動きと株価」の2テーマで、1～2時限で実施可能なコンパクトな内容。

株式ボードゲーム「ブルサ」（中・高・大学生向け）



教科書で学ぶ経済や金融のしくみを、具体的なニュースによる株価の変動を通じて楽しく学べるボードゲーム型の教材。様々な経済事象に基づく株価変動を通じて、経済の具体的な動きを理解することを目的。

日本証券業協会等との提携教材

体験型教材金融クエスト（中・高校生向け）



「グループワークなどを通じて、起業や、投資の意義、間接金融・直接金融、株式会社のしくみ、資産形成などの関心と理解を深めることを目的。中学、高校の新学習指導要領（2021,2022年度実施）に対応しており、社会（公民的分野）、家庭基礎・総合等の授業で活用可。

株式学習ゲーム（中・高・大学生向け）



アメリカの学校教育現場で長年の実績がある Stock Market Game がモデル。株式の模擬売買を通じ、経済の仕組みや社会の動きなどについて興味関心を高め、経済合理的な判断・行動の意味を学ぶことを目的。

授業支援

投資について、興味がないようにみえた生徒が、質問をするように促すと、次々に疑問を出してきたので、興味があることが良く分かったりしました。

親子経済教室

中1の娘と参加させていただきました。ちょうど株式に興味を持ってきたところだったので、最適でした。私も勉強になりました。

起業体験プログラム

起業する意味を感じたし、株式会社のしくみが分かり、将来社会人になった時、株主として企業を支援してみたいと思いました。

2022 年度授業支援

3,700人

(小学校 6 回、中学校 9 回、高校 38 回)

先生のための経済教室

全国の現場の先生方の具体的な授業実践事例が聞けたことと、大学教授などの専門家の最前線のお話が聞けたことが有意義でした。

親子経済教室

分かりやすい説明とクイズがよかったです。株式のことをあまり知らない子供でしたが、イベントが終わった後に新聞を開いて見てました。

親子経済教室 **20** 回 (前年度 6 回)

教員セミナー・研修 **10** 回

起業体験プログラム **12** 回

概要

成年年齢引下げを受けて、大学生にとって投資や資産形成が身近になる契機となる一方で、投資に関する正しい知識、金融リテラシーを身に着けることがより一層重要になるとの考えのもと、学生向け取組みを重視。

- … 講師派遣は年間約 100 回、約 7,500 人 (2022 年度実績)
- … 学生団体と連携したコンテンツ等も企画・発信
- … 東証の施設で開催するプレゼン大会も企画



特徴

講師派遣・受入講義

大学からの依頼に基づき JPX 社員の講師を派遣。証券市場の基本的な仕組みと機能のほか、ライフプランとお金の活用等をテーマに講義。東証 Arrows、OSE ギャラリー案内とセットで講義も実施。

寄付・連携講座

複数の大学で寄付・連携講座を開講。証券市場等に関するより専門的な知識を提供する講座。JPX 社員が講師を務めるほか、上場企業経営者などをゲスト講師に呼ぶケースも。

イベント・学生団体と連携した取組みなど

資産形成や資本市場をテーマにしたプレゼン大会を企画・開催。また、学生団体との連携により、学生目線で資産形成を考えるコンテンツも企画・発信。

6-2. 講師派遣、寄付講座

キャンパスマネ部！

全国各地の大学からの依頼に基づき、JPX 社員を講師として派遣し、証券市場に関するテーマのほか、「ライフプランとお金の活用」等の講義を通じて、資産形成の重要性を考えるきっかけを提供。また、複数の大学において寄付・連携講座を開講し、より専門的・実践的な金融・経済に関する講義を展開。

講師派遣（通年）

大学からの依頼に基づき JPX 社員の講師を派遣。

2022 年度の実績

約 **100** 回、約 **7,500** 人に実施

対象 大学生、大学院生、専門学校生 (10 名 ~)

- 講義内容**
- ① ライフプランとお金の活用
 - ② 証券市場の基本的な仕組みと機能
 - ③ 最近の証券市場・上場会社について
 - ④ 会社の見方・調べ方
 - ⑤ 株式学習ゲームに関する解説
 - ⑥ デリバティブ (金融派生商品) の意義と役割

費用 原則無料

寄付・連携講座（通年）

より専門的・実践的な知識の講義をする寄付・連携講座。10 コマ以上の講義の中では、JPX 社員のほか、上場企業経営者などが登壇するケースも。受講者から高い評価を得られている。



金融市場のトピックス

SDGs/ESG、コーポレートガバナンスコード、日米株式市場の特徴など

証券市場入門

株式投資とは？ 株価の理論と実際、証券による資金調達の意義、流通市場と発行市場の関係、証券市場とマクロ経済との関係、デリバティブ入門 など

投資論

投資理論の基礎知識、期待リターンなど

会社情報の見方・使い方

会社情報の種類と情報収集の方法
ケース・スタディー (株式指標と企業価値がどう関連するか、企業価値が株価に繋がるケースの分析など)

株式学習ゲーム

シミュレーションツールを実践して中間・期末報告 など

日本の資本市場を象徴する東証 Arrows で、「資産形成」や「企業価値向上」等をテーマに、同年代と広く経済について考え議論し、交流するプレゼンコンテストを企画・開催。

大学生・大学院生対象プレゼンコンテスト

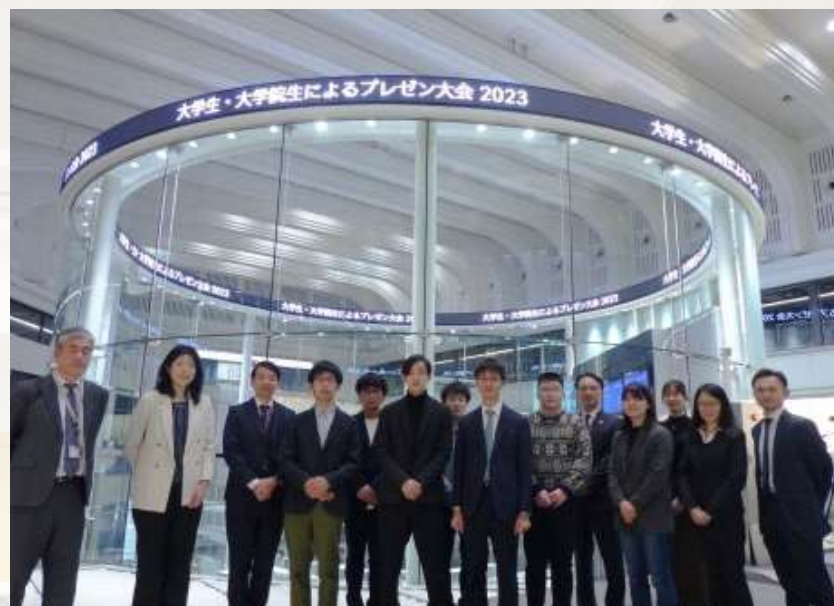


開催録記事

2023年2月開催 5大学 6チームが参加
(京都大学、慶應大学、滋賀大学、上智大学、横浜国立大学)

プレゼンテーマ(以下から選択)

- テーマ1 人生100年時代の長期投資を考える
(新しい資本主義に向けた金融リテラシー)
- テーマ2 長期的な企業価値向上のための上場企業の取組みを分析する
- テーマ3 デジタル資産の発展と証券取引所の未来を考える



最優秀賞：上智大学チーム「上場企業の長期的な価値向上におけるオープンイノベーションの課題」



- 上場企業の長期的な価値向上のため、ESGに関する取組みの重要性が増加
- ESG経営を実現する手段の一つとして「オープンイノベーション(自社以外の組織や機関などが持つ知識や技術を取り込んで価値を創造すること)の導入」が有効
- 上場企業においてその事例が見られるが、導入目的や収益性の観点で課題もあり
- 今後、オープンイノベーションの効果を適正に評価し推進する制度作りが必要

学生団体(学生投資連合 USIC や、各大学の有志グループ)との連携により、学生目線で資産形成を考えるコンテンツを企画・発信。

学生団体との連携施策

2022年6月開催
「JPX マネ部! ラボ」設立記念オンライン・シンポジウム
第二部<自立するための金融経済教育編>

テーマ:「金融リテラシーも民主化時代」～学び合いで未来を創る～

再生回数約 **1.5万** 回

※アーカイブ配信終了

【出演】

学生投資連合 USIC / 農林中金バリューインベストメンツ株式会社常務取締役 CIO 奥野一成氏 /
信州大学特任教授・法学博士山口真由氏



2022年9月開催
キャンパスマネ部! in 札幌
～伝説のファンドマネージャー × 北海道で金融を学ぶ学生、
北海道発アイドルと「投資」について考えるスペシャル～

ミニ講義「これぞ『教養としての投資!』」、ガチンコ質問タイム「なぜ投資をマナブのか」など

【出演】

北大金融研究会(北海道大学) / 農林中金バリューインベストメンツ株式会社常務取締役 CIO 奥野一成氏 /
北海道発アイドルユニット Poplatte (ぽぷらって)

再生回数約 **2.9万** 回



セミナー動画

講師派遣

最近、CMなどで投資の話を身近に感じるようになっていたが、自分には関係ないと思っていました。基本から詳しく知ることができて、企業の分析方法だけでなく、証券取引にも興味がわきました。

講師派遣

現代の証券市場が過去からどのように形作られていったのかがよく理解できました。今後、証券市場がどのように変化していくのかを知ろうと思うきっかけになりました。

2022年の講師派遣

7,500人

(約50回寄付・連携講座除く)

プレゼンコンテンツ

今回のプレゼン大会に参加させていただくにあたって、改めて授業資料を見返したり、それをもとにさらなる発展的な内容についてリサーチを行いました。授業だけではなかなか理解しきれなかった内容や授業を聞いているだけでは知ることができないことなど、新しい知識を得ることができ、また、会場でのJPXの方やその他の参加者との交流もとても刺激を受けました。このような授業外の時間で授業で学んだことをアウトプットできる場が今後もっと増えてほしいです。

講師派遣

理論の学習に留まらず、ベンチャー企業の経営者による講演も聞くことができました。非常に有意義な講義でした。

7-1. 施設見学案内の概要

施設見学

東京証券取引所及び大阪取引所では、多くの人に資本市場に触れていただくため、年間を通じて施設見学を受け入れており、案内付見学ツアーが好評。職域団体の方には、案内付見学ツアーのオプションとして、資産形成等に関する講義も提供しており、施設見学の一環で資産形成を学ぶことが、JPXの金融経済教育の一つの特徴にもなっている。

東京証券取引所（日本橋兜町）

テレビ等でお馴染み、日本の資本市場の象徴「東証 Arrows」

日本の資本市場の象徴「東証 Arrows」では、テレビ等でお馴染みのガラスシリンダー「マーケットセンター」等を間近で見ることができる。1時間の案内付見学ツアーでは、株券売買立会場跡地（現・東証 Arrows）や、上場の鐘等を解説している。



「東証アローズ」見学マップ

- ① チックター: マーケットセンターの上層にある記念ホール。毎日約100の大手企業の新規上場、再上市の株式市場の最新動向、市場の成長力と課題が分かるよう展示されています。
- ② マーケットセンター: 東証のシンボルであるガラスシリンダー。1階はマーケットセンターの「市場の最新動向」を注視。各階は各層の最新の株式市場の最新動向が分かるよう展示されています。
- ③ オープンプラットフォーム: 企業と投資家が対話する場。最新のテクノロジーを駆使して、マーケットセンターの最新動向を分かりやすく展示しています。
- ④ 上場の鐘: 東証が創業して100年を記念して、新しい歴史を刻むための鐘。鐘の音は、企業の上場を祝うとともに、投資家の期待を告げる。東証の歴史と未来の展望が分かるよう展示されています。
- ⑤ 東口: 東証の玄関口。最新のテクノロジーを駆使して、最新の市場動向を分かりやすく展示されています。
- ⑥ メディアセンター: 最新のテクノロジーを駆使して、最新の市場動向を分かりやすく展示されています。

02 東証アローズ

2000年5月に竣工した、市場に関する最新の施設。約1,800坪のガラスシリンダーの構造が特徴的。天井までの高さは約15m。

ここは普段からほとんど人がいないのでぜひ見学してください。

QRコード

東証 Arrows 見学案内ツアーお申込みはこちらから

大阪取引所（北浜）

大阪取引所ビル1階アトリウム

大阪取引所ビル1階アトリウム及び5階の OSE ガalleryでは、市況情報をリアルタイムに表示するアトリウムビジョンのほか、展示コーナーやパネル、シミュレーター等を通じて株式やデリバティブについて学ぶことができる。案内付見学ツアーも実施。



大阪取引所ビル1階アトリウム及び5階の OSE ガalleryでは、市況情報をリアルタイムに表示するアトリウムビジョンのほか、展示コーナーやパネル、シミュレーター等を通じて株式やデリバティブについて学ぶことができる。案内付見学ツアーも実施。

OSE ガalleryのご案内
OSE Gallery Guide

オーバルルーム全体図
Overall View of Oval Room

- 1 取引所 (Exchange)
- 2 株式の歴史 (History of Stocks)
- 3 大阪取引所について (About Osaka Exchange)
- 4 株式市場の仕組み (How the Stock Market Works)
- 5 証券市場の発展 (Development of the Securities Market)
- 6 株式市場の未来 (Future of the Stock Market)
- 7 デリバティブの紹介 (Introduction to Derivatives)
- 8 証券取引所グループについて (About the Exchange Group)
- 9 シミュレーター体験 (Simulation Experience)
- 10 証券市場の未来 (Future of the Securities Market)
- 11 最上層 (Top Floor)

QRコード

OSE ガallery見学案内ツアーお申込みはこちらから

案内付き見学ツアーについては、環境変化やこれまで寄せられていた声を踏まえながら各種の改善策を検討・実施しています。

案内付き見学ツアー

- 昨今の資産形成への関心の高まりを受けて、東証 Arrows 案内付き見学ツアーの冒頭に、資産形成の重要性を考えるきっかけとなるようなビデオ動画を組み込み。



- 金融に関する予備知識がない方や学生でも理解しやすいよう、通常の見学案内ツアーとの比較で、より易しい表現で見学案内する「あろーずくんコース」を新たに導入（夏休みや冬休みの一定期間に限定して試験的に導入中）。

バーチャル東証 Arrows 見学案内

テレビ等でお馴染み“東証 Arrows”のガラスシリンダーの中から見える景色はどのようなものなのか、JPX 社員だけが入れる空間を体感できる、バーチャル東証 Arrows 見学案内サービス。



バーチャル
東証 Arrows 見学



チッカーやマーケットセンターなど、テレビでしか見たことの無い場所をこんなに間近に見ることが出来て大変貴重な経験になりました。

スタッフさんが笑顔でわかりやすく解説してくれました。マーケットセンターでの記念撮影もできて、良い思い出になりました。

今まで自分に関係がないと思っていた「株」が、とても身近に感じられました。株のしくみについてわかりやすく説明してくださり、さらに興味がわきました。

2022 年度見学

8,900人

(東証 Arrows 及び OSE ギャラリー計)

コロナ禍で中止していた見学案内ツアーは、
2022年1月から再開、申込数も
増え続けている

導入の映像が親しみやすいものだったので、気負わずに見学を始めることが出来ました。担当の方も、こちらに質問を投げかけてくださるなど、終始穏やかな見学でした。

内容は難しかったが、丁寧に説明していただいたので、よくわかった。株式投資をしている友人にもこの見学をすすめようと思った。

現場の担当者が振り返る、「JPX マネ部！ラボ」の2022年度の取組み

全世代を対象に、金融リテラシーを考えるきっかけを提供した「JPX マネ部！ラボ設立記念シンポジウム」

2022年4月に「**JPX マネ部！ラボ**」ブランドを立ち上げました。まずは我々の活動コンセプトを広く皆様に周知する必要があると考えました。そのコンセプトは、取引所の特性も活かしつつ、「**全ての人に金融経済教育を**」というものです。その第一弾として、金融リテラシーをより多くの方が考えるきっかけとして、東証 Arrows から提供・発信するシンポジウムを企画し、6月にオンライン開催しました。金融リテラシーをどのように考えればいいのか、については世代別にも向き合い方が異なってくるため、本シンポジウムは世代ごとに3部に分けて構成しました。それぞれのタームで複数の有識者を招いた講演やパネルディスカッション等で熱い議論がなされました。アンケートによれば、視聴者に多くの示唆を提供できたと考えられます。アーカイブ動画の再生数も現在までに5万回を超え、「JPX マネ部！ラボ」の活動コンセプトを多くの人に理解いただける結果になりました。



セミナーマネ部！グループ課長

森元 憲介

日本の資本市場運営者として、日本経済・日本株について考えるきっかけを提供する東証マネ部！「日本経済 Re Think」

「JPX マネ部！ラボ」設置を機に、インパクトある取組みを展開したいと考えていました。その一つは、私が、草創期から運営に携わる「東証マネ部！」における連載記事企画「日本経済 Re Think」です。昨今、若い世代を中心に米国株に関心が向かいがちです。日本の資本市場運営者の立場として、日本株への関心が低下していたことに危機感を感じたため、企画したコンテンツです。日本を代表する、影響力ある識者に、日本経済のポジティブ面・ネガティブ面を忖度なしに語っていただくことで、広く個人の皆様に**日本経済・日本株を考えるきっかけ**を提供することが狙いです。レオス・キャピタルワークス代表取締役会長兼社長の藤野英人氏を皮切りに、シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役の渋澤健氏や経済学者の成田悠輔氏等、現在までに8名の方のインタビュー記事を配信しており、多くの反響をいただいています。



デジタルマーケティンググループ課長

吉田 貴弘

日本の資本市場の象徴「東証 Arrows」の見学案内を2022年度より本格的に再開

コロナ禍でしばらく中止していた東証 Arrows と OSE ギャラリーの見学案内ツアーについて、2022年以降、本格的に再開しました。特に東証 Arrows は**日本の資本市場の象徴**でもあり、見学された方の多くが、その存在感・インパクトに驚きとポジティブな反応を示していただいています。現在、東証においては企業・団体様限定で、東証 Arrows 案内付き見学ツアーに参加いただいた方へのオプションとして、資産形成等に関するレクチャーも提供しています。これも大変な好評をいただいております。東証 Arrows の施設内で**資産形成も学習できる**、ということがバリューになっているかと思えます。今後も、より多くの方に案内付き見学ツアー及びレクチャーを受けていただけるよう、新たな試みも検討していきたいと考えています。



見学グループ

金本 萌那

(参考) メディア掲載歴

メディア名	テーマ	掲載(配信)日
bloomberg	成年年齢引き下げに伴う投資への影響	2022/4/1
時事通信	企業による金融教育の後押しについて(高校授業開始、成年年齢引き下げ関連)	2022/4/8
NHK	高校の金融教育(学習指導要領改訂に関連して)(サタデーウォッチ9番組内)	2022/4/9
フジテレビ	親子で学ぶ投資について	2022/7/27
日経 CNBC	取引所の金融経済教育について①	2022/8/4
日経 CNBC	取引所の金融経済教育について②	2022/9/8
日本経済新聞	金融教育の課題について	2022/9/16
テレビ東京	東京証券取引所の施設案内(秒でNEWS180番組内)	2022/9/21
日経産業新聞	企業選びにおけるIR情報活用について	2022/9/28
日本証券新聞	JPX マネ部! ラボ サイトの開設について	2022/10/4
日刊工業新聞	JPX マネ部! ラボ サイトの開設について	2022/10/5
ニッキン	東京証券取引所の施設案内(オンラインツアー)	2022/10/15
読売新聞	中学・高校の「投資」教育における課題について	2022/11/18
読売新聞	渋沢栄一を扱った高校への出前授業について	2022/11/26

※JPX マネ部! ラボの各種プログラムにおいて、なんらかの形でかかわった案件

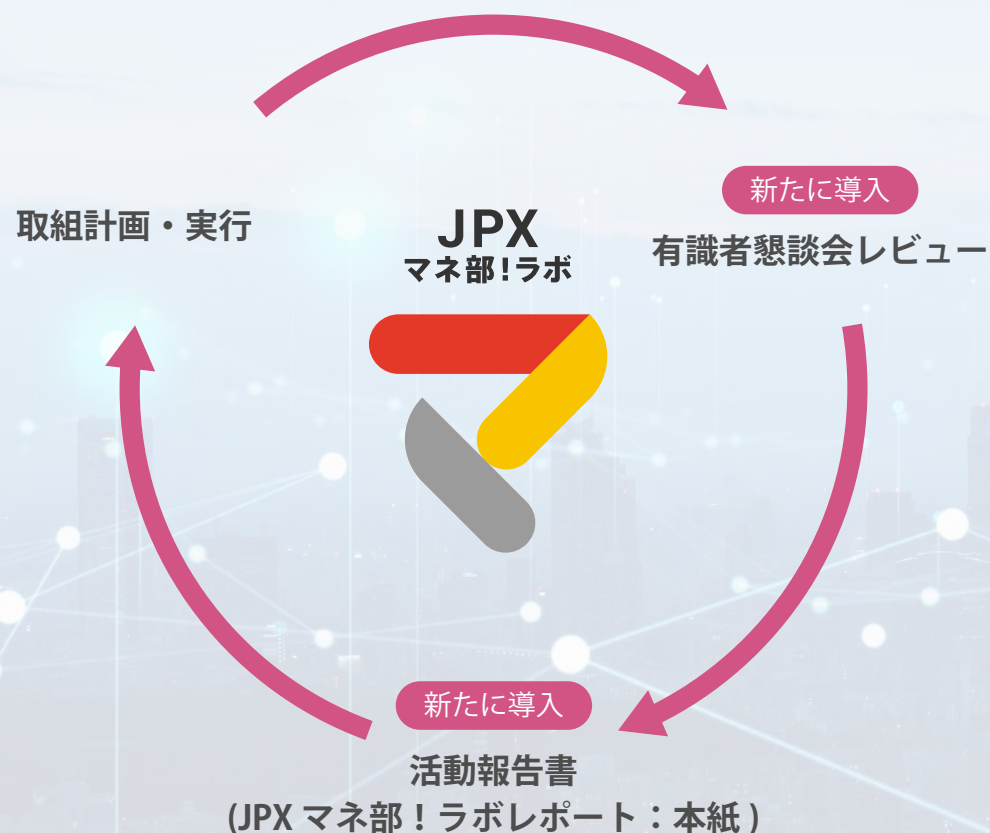
さらなる改善・強化、2023年度の取組みについて



2022年4月に設置した「JPX マネ部！ラボ」ブランドのもと、活動全体をより実効性あるものに改善することを狙い、新たに「外部の知見の取込み」のプロセスをPDCAサイクルに組込むことを決定。具体的には、毎年度末に「有識者懇談会」を開催し、複数の有識者からレビューを受け、その後の「JPX マネ部！ラボ」の活動に活かしていく。また、活動の見える化を図り、每期、「活動報告書 (JPX マネ部！ラボレポート)」として公開する。

※当年度の活動になんらかの形でかかわっていただいた有識者の方に協力依頼

PDCAにて活動を継続的に改善



2023年3月に初開催
(有識者及びJPXの役員で議論)

実効性ある取組みができているか、有識者からの意見を取込み、以降の取組みに活かしていく。

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 藤野 英人氏 | レオス・キャピタルワークス代表取締役
会長兼社長 CEO&CIO |
| 野尻 哲史氏 | フィンウェル研究所代表 |
| 清明 祐子氏 | マネックスグループ代表執行役社長 CEO |
| 新芝 宏之氏 | 岡三証券グループ取締役社長 |
| 藍澤 卓弥氏 | アイザワ証券代表取締役社長
兼社長執行役員 |

※当日都合がつかなかった、シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役の渋澤健氏、株式会社マネイクのキャサリン&ナンシー氏からもご意見をいただいた。

8-2. 有識者懇談会の意見の例①

さらなる展開について

2023年3月に初開催した2022年度有識者懇談会では、当期の活動に何らかの形で関わっていただいた有識者を招いて、「スコープ・講義の内容」、「職域向けアプローチの改善」、「活動の認知度向上」等のテーマについて、様々な視点から意見をいただき、多くの示唆を得られた。以下は意見の一例。これらも参考にしながら2023年度の活動を展開中。

現在は現役世代をターゲットとした活動を多く展開していると思うが、JPXの取組みに不足していて今、向き合うべき領域と感じるのは、**「シニア向け」**の活動だ。

50代を対象とした職域研修も重要になってくる。例えば**「企業における従業員向けセカンドライフ研修に、JPXとして、「出張マネ部！（職域向け講師派遣）」のサービスを提供してはどうか。**

実際には金融リテラシーが高くはないのに、自分ではリテラシーが高いと思っている人が意外に多い。そういう人が金融詐欺の被害にも遭いやすい傾向がある。職域研修等、初心者向けの研修においては、**「金融リテラシーテスト」**のようなものを用意して、まずは自分のリテラシーのレベルを把握してもらうことも重要ではないか。

(職域研修のアプローチについて)企業の人事部にアプローチして研修を開催する場合、集客面においても、必ずしも熱量が上がるとは限らない。**「経営トップの考え次第というのはあると思う。」**そのような点を意識してアプローチを考えてみてはどうか。



現在、職域研修を積極的に実施しているのは上場企業が中心であるが、**こうした研修がより必要となるのは中小企業の社員ではないか。**中小企業の社員を対象とした研修ももっと実施していかないと、日本全体の金融リテラシー向上には繋がらない。

東証の金融教育では、**「上場会社も価値あるコンテンツ」**である。特に、新規上場会社について学ぶと、会社を興して、成長し、やがてその成長の果実が次の新しい価値創造へつながるという循環がよく理解できる。大学の講座や、地方巡業、親子向けイベントで**「上場の魅力を是非伝えてほしい。」**結果的に参加者の中から起業したり、投資に踏み出したりという方が出てくれば良い。

東証には様々な会社が上場しているので、そういった**会社の活動を知ってもらうことで、リアル感を出せて、取組みが多元的なものになるのではないか**。会社のストーリーという点では、ESG や社会貢献というテーマにも触れられる。

一般の金融機関が金融経済教育をする際に、なんとなく警戒感を持たれてしまうケースもある。**公共性の高い JPX は、その立場を十分活かして活動するのが良いだろう**。また、**地域活性化を主眼に置いて金融経済教育に取り組むという考え方もあるのではないか**。

JPX が**せっきやく作った良質なコンテンツをいかにして広く一般の方に利用してもらうのか、これを真剣に考えてほしい**。今は若い世代だけでなく高齢者も含め誰もがスマホで情報取得する時代。あくまで一例だが、顧客と直接的なリレーションを持つ証券会社と連携し、「東証マネ部！」等のスマホコンテンツを、顧客に知ってもらうというアプローチもあるのかもしれない。



あの「東証」という空間を、ファミリーが気軽に行けるような場所にするための取組みも面白いのではないかと？例えば**小中学校の自由研究のようなものができること、面白い**。

親子を対象とした講座は、**単発ではなく連続の開催にもチャレンジしてはどうか**。また、よりリアルに、**真剣に考えさせるという意味で、親子で1銘柄を選ぶことを目的にした講座も効果的ではないか**。

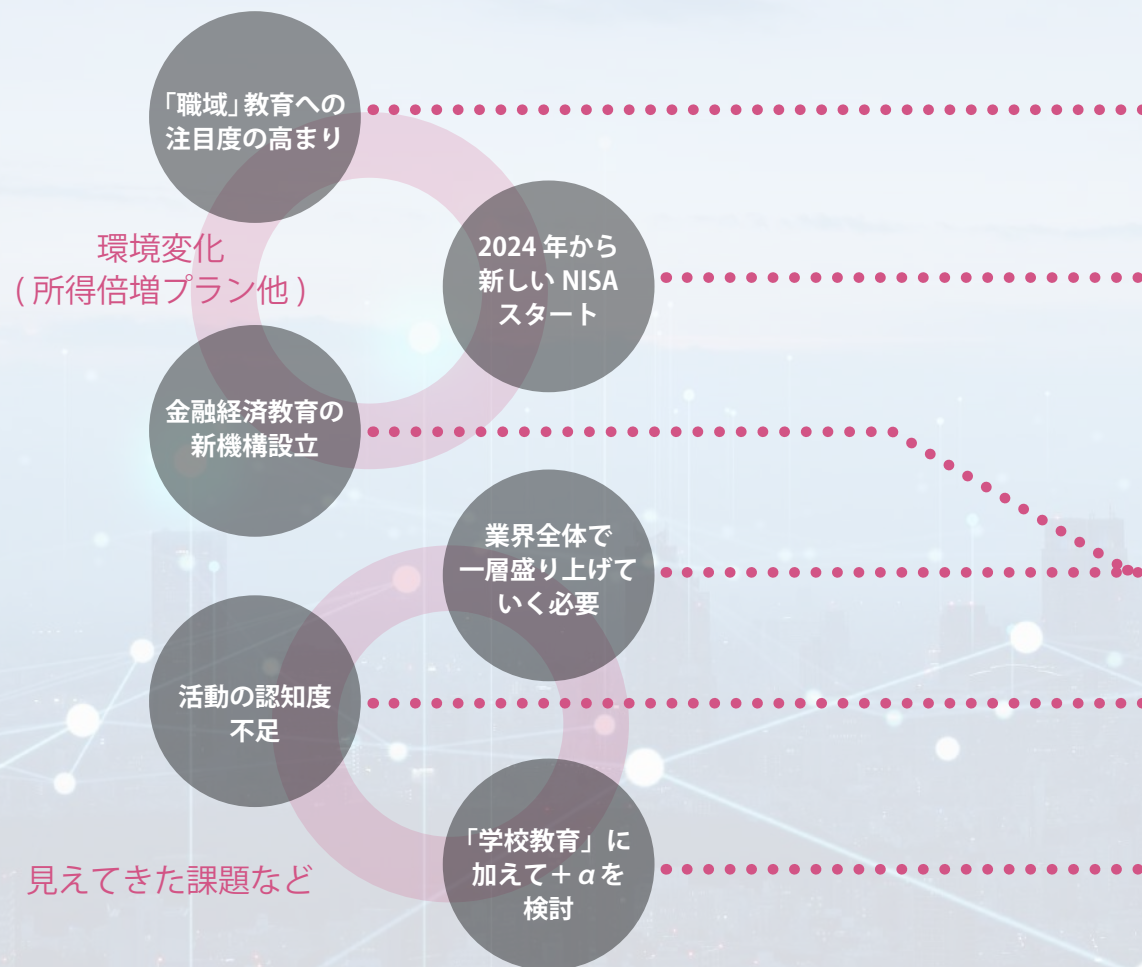
家庭の教育という観点では、はじめの一步として、親が勤めている「株式会社」を知ってもらい、勉強してもらうことで、**日本にはいい会社がたくさんあって社会のためにこうやって役に立っているんだ**、ということから教えるのがよいのではないかと。

8-3. 2023 年度の取組みについて（考え方）

さらなる展開について

活動を展開する中で顕在化してきた課題や環境変化、また、有識者懇談会で得られた示唆も踏まえつつ、2023 年度も引き続き、取引所の立場・強みを活かしながら社会のニーズに適切に応えていけるよう、活動内容の改善を追求。効果的な施策を積極的に展開していく。

環境変化・課題



資本市場運営者として、果たすべき役割や強みを十分意識しながら

2023 年度の取組みの方向性

「職域」の更なる強化

JPX の職域研修の認知度向上を通じて、上場企業をはじめとする職員向けに講義を積極的に提供し、国民的課題である金融リテラシー向上に貢献する

新しい NISA の周知

世の中のニーズの高まりも踏まえつつ、新しい NISA の制度周知及び解説について、「JPX マネ部! ラボ」2023 年度の柱として、積極的に展開していく

効果的な「連携」の推進

金融経済教育のエコシステムの中で、より効果的な取組みができるよう、引き続き各種の「連携」取組みを推進

活動の認知度向上

SNS の効果的な活用や、メディアを意識した活動の展開など

「家庭」という単位への着目

学校現場での授業時間が限られていることを踏まえつつ、家庭でお金・投資の会話がなされるような仕掛けについて、取引所として貢献できる部分があるカリサーチを実施

上記に加え、「有識者懇談会」で得られた示唆を踏まえて各種の取組みについて継続的に改善

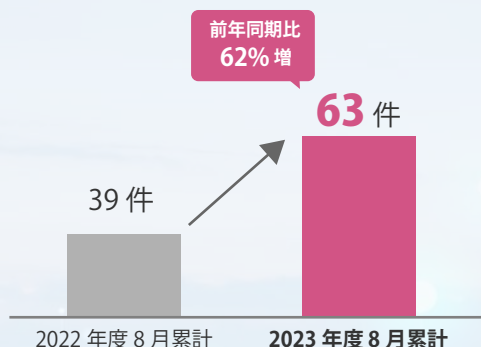
8-3. 2023年度の取組みについて（直近の取組みの一例）

さらなる展開について

職域

2023年度 職域研修「出張マネ部！」

サービスの周知活動等を通じ
実施回数が前年同期比で大幅増、年間ベースで過去最高を見込む



ファイナンシャル
ウェルビーイングに
関心の高まる中、
引き続き強化して対応

新しいNISA

2023年度 新しいNISA 関連セミナー

新しいNISAについて、多様なテーマに絡める形で
複数のセミナーを企画・展開中



2023年度に入り、
新しいNISAに絡めた
オンラインセミナーを

8 講座
企画し、配信中
※2023年9月末時点

認知度向上・連携

6月開催 京大金融セミナーへの協賛、スピーチ・パネル登壇

京大金融セミナー「社会と金融リテラシー」への
東京証券取引所代表取締役社長の登壇

- ・キーノートスピーチ
「資本市場を通じた『成長と分配の好循環』への貢献」
- ・パネルディスカッション
「社会・経済と金融リテラシー」



金融庁： 中島長官
みずほ証券： 浜本社長
京都大学： 川北名誉教授
グッドバンカー： 筑紫社長
東京証券取引所： 岩永社長
※役職は開催日時点のもの

連携

9月開催 北海道で金融教育イベントを開催

地方含む日本全体で
「金融経済教育」を盛り上げていく活動を推進

地方取引所等とのネットワークを活かし、地方で「金融経済教育」を盛り上げるイベントを企画。2023年9月に、札幌証券取引所、日本証券業協会北海道地区協会と共催で、「北海道・金融経済教育フォーラム＆ラウンドテーブル」を開催し、大きな反響を得られた。

プログラム

- ・人気ラジオ番組「耳で聴く後藤達也 note」の公開収録
- ・パネルディスカッション「金融経済教育の“シン実践考”～まなびの体温を上げるリレーとは？～」

～ お金のコト、投資のコト、まずはここから～

JPX
マネ部!ラボ



本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の完全性を保証しているものではありません。

また、本資料は、平易に解説・記述することを目的としているため、必ずしも網羅的なものではなく、将来予告なしに内容が変更される可能性があります。

過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。

本資料のいかなる部分も一切の権利は、株式会社東京証券取引所 / 大阪取引所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ複製または転載等はできません。